

令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	若林 久人
	全体計画	令和 3年度	～	令和 7年度	経費区分	経常的経費	内線 3115
事務事業名	4033 行政改革推進事業						
所 属	050100 総務部・総務課						
施 策	17024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費					
	事業	070000 行政改革推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
社会全体が迎える大きな変わり目や社会動向を見定め、現在より少ない職員体制でも、自治体として本来担うべき機能が発揮でき、複雑・高度化する課題も乗り越えることができる市役所への転換と将来を見通した持続可能なまちづくりの実現。				第四次チャレンジプラン改訂版（2019～2020年度）、行財政改革プラン2025（2021～2025年度）による行財政改革の実施 事務の見直し、効率化や民間活力の活用などの仕事の仕方やICT導入による手法の最適化など行政内部の取り組みのほか、受益に対する適正な負担をいただく取り組みについて検討実施。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
「第四次行財政改革チャレンジプラン改訂版」に基づき、行財政改革を実行。 「行財政改革プラン2025」及び行動計画の策定完了。	行財政改革プラン2025行動計画に基づく行財政改革の実施
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
行財政改革プラン2025行動計画に基づく行財政改革の実施	行財政改革プラン2025行動計画に基づく行財政改革の実施
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
行財政改革プラン2025行動計画に基づく行財政改革の実施	行財政改革プラン2025行動計画に基づく行財政改革の実施 新行財政改革プランの策定

指標名	行財政改革プラン2025行動計画目標効果額					
算式	行財政改革プラン2025行動計画目標効果額				単位	千円
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標	110,300	121,379	70,600	65,445	62,950
	実績					
指標選定の理由	財政健全化に向け、支出を削減し収入を確保する取組み					
最終年度目標の根拠	行財政改革プラン2025行動計画各事業取組み目標の積算額					
指標名						
算式					単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		127	1,399
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		127	1,399
人員数(人)	正規職員	0.6	0.8
	嘱託職員	0.6	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,180.8	5,574.4
	嘱託職員	1,889.4	1,889.4
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,070.2	7,463.8
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		6,197.2	8,862.8

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	127	行政改革推進委員・指定管理者審査会報酬 36、旅費・普通旅費 1、無作為抽出による委員募集通知郵便料 90

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	7	食糧費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,392	委員報酬 225、旅費・費用弁償 41、旅費・普通旅費 19、無作為抽出による委員募集通知郵便料 90、システム使用料 1017

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	自治体として本来担うべき機能が発揮でき、複雑・高度化する課題も乗り越えることができる市役所への転換と将来を見通した持続可能なまちづくりの実現を実現するため、業務効率化、コスト削減、職員の働き方改革などの行財政改革の必要性は高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	一定の成果は出ているが、成果に満足することなく、立ち止まらずに改革を推進していく。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	事務事業評価と施策評価の連携方法の改善、業務改善プロジェクトからの改善提案、ICTの活用等による効率化など成果も増え始めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

2020年度は行財政改革プラン2025および行動計画の策定とデジタル活用推進室の設置など行財政改革を推進するための土台整備が行えた。2021年度からは行動計画を中心とした行財政改革を着実に推進していく。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
須坂市行財政改革プラン2025に基づき、事務の見直し、効率化や民間活力の活用など市役所の仕事の仕方やICT導入による手法の最適化などの取組みを進めていく。		須坂市行財政改革プラン2025に基づき、積極的に取組みを進めていく。DX活用推進室との連携による事業推進に期待する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	